

品質性能試験報告書

試験結果は以下のとおりであることを
証明する。



財団法人 建材
中央試験所長 黒
埼玉県草加市稲荷5丁



| | |
|----------------------|--|
| 試験名称 | たて枠を介して木造建築用接合金物を使用した接合部の引張試験 |
| 依頼者 | 会社名：株式会社 栗山百造 所在地：新潟県三条市大字井戸場84-9 |
| 試験体 (依頼者 提出資料) | <p>1. 接合金物 名称：木造建築用柱脚仕口金物 商品名：枠材用クリホールダウンⅢ KHDⅢ-30・35 用途：柱脚の仕口に使用する金物（アンカー型） 寸法：幅40mm，長さ195mm，厚さ3.2mmの鋼板添え板にコの字形に折り曲げた厚さ4.5mmの鋼板を溶接接合したもの（図-2参照） 材質：添え板部；図-2の化学成分及び機械的性質を満足するNFG 600F コの字部；SPHC（JIS G 3131） 表面処理：ダクロタイズド処理</p> <p>2. 接合具 木ねじ：クリ鍋ビス 7×90，8本使用 アンカーボルト：六角ボルト M16×260</p> <p>3. 使用軸組等 柱：樹種；すぎ，寸法；105×105mm たて枠：樹種；すぎ，寸法；45×105mm</p> <p>4. 試験体数 7体（うち1体は予備試験体） 参照：図-1及び図-2（試験体の形状・寸法）</p> |
| 試験方法 | 木造軸組工法住宅の許容応力度設計（監修：国土交通省住宅局建築指導課・木造住宅振興室，企画編集・発行：財団法人日本住宅・木材技術センター）の2章「木造軸組工法住宅の各部要素の試験方法と評価方法」に従って行った。その詳細を表-1に示す。 |
| 試験結果 | <p>短期基準引張耐力(P_{0t})：36.0kN</p> <p>耐力算定基礎資料：表-2 荷重-変位曲線：図-3及び図-4 破壊状況：写真-1～写真-6</p> |
| 試験期間 | 平成21年 9月 7日 ～ 8日 |
| 担当者 | <p>構造グループ 統括リーダー 高橋 仁 試験責任者 赤城 立也 試験実施者 渡辺 一 佐島 淳 北村 保之</p> |
| 試験場所 | 中央試験所 |